



令和8年度 果樹情報 第15号

(令和8年10月19日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (10 月前半、果樹研究所)

平均気温は、第1半旬が17.2℃で平年より1.1℃低く、第2半旬が16.8℃で平年より0.1℃低く、第3半旬が18.2℃で平年より2.2℃高く経過しました。

この期間の降水量は2.0mmで平年比3%とかなり少なくなりました。日照時間は96.5時間で平年比123%と平年より多くなりました。

2 土壌水分 (10 月 16 日現在、果樹研究所)

10 月 14 日時点の土壌水分 (pF 値: 果樹研究所なしほ場: 草生・無かん水) は、深さ 20cm で 2.0、深さ 40cm で 2.2、深さ 60cm で 2.1 となっており、適湿状態です (図 1)。

(深さ 20cm は 4 月 25 日～5 月 7 日、5 月 16～19 日、9 月 25～30 日はデータ欠損)

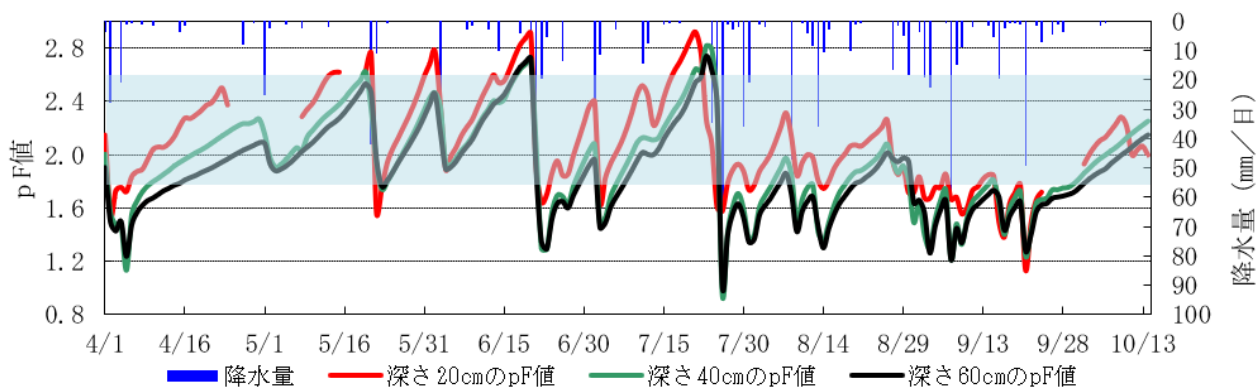


図1 土壌 pF 値の推移(果樹研究所なしほ場:草生・無かん水)

図中の網掛け部は、適湿の範囲 (pF1.8-2.6)

3 発育状況 (10 月 16 日現在、果樹研究所)

(1) りんご

ア 果実肥大

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が 85.4 mm (平年比 103%)、横径が 93.2 mm (平年比 104%) と平年並の状況です。満開後日数で比較すると、平年よりやや大きくなっています。

イ 収穫状況

「シナノスイート」(M9 ナガノ台) の収穫開始日は、10 月 8 日で平年より 1 日遅くなりました。10 月 14 日現在(満開後 176 日)の果実重は 372g、糖度は 15.2° Brix となっています (表 1)。

表 1 主要品種の収穫時期と果実品質

品種	収穫開始日			収穫盛期			収穫終期			果実重			糖度		
	(月/日)			(月/日)			(月/日)			(g)			(° Brix)		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
つがる	8/24	8/26	8/22	8/28	8/30	8/25	8/31	9/4	8/29	326	284	265	12.1	13.0	13.6
シナノスイート	10/8	10/7	10/14	未	10/7	10/20	未	10/15	10/23	372	335	294	15.2	15.0	14.5
王林	未	10/24	10/21	未	10/27	11/3	未	10/31	11/7	346	316	323	14.8	14.3	13.8
ふじ	未	11/14	11/18	未	11/18	11/24	未	11/26	11/27	未	357	339	未	15.0	15.1

注) 平年値は、「シナノスイート」は 2012～2025 年、その他の品種は 1996～2025 年の平均値。

未は未確定値。「シナノスイート」の果実重、糖度は 10/14 調査時の参考値 (下線部)。

ウ 成熟状況

「ふじ」の満開後 178 日（10 月 14 日）における成熟調査の結果は、果実硬度が 12.6 ポンドと平年よりやや低く、糖度は 14.2° Brix でほぼ平年並、リンゴ酸含量は 0.44mg/100ml で平年より高く、デンプン指数が 3.9 と平年よりやや低くなっています（図 2、3）。果皮中クロロフィル含量は平年より低く、果皮中アントシアニン含量は平年よりかなり高い状況です（図 4、5）。

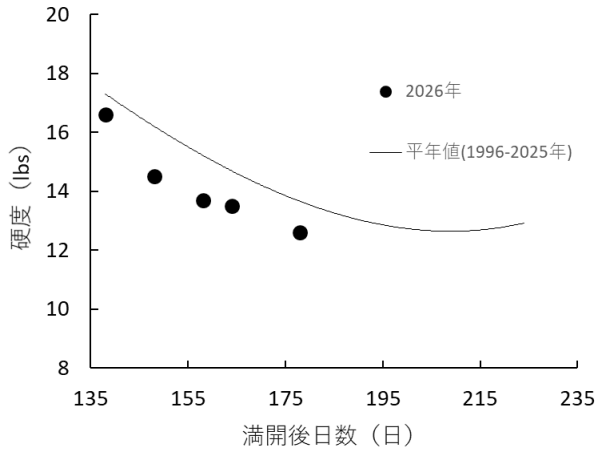


図 2 「ふじ」の果実硬度の推移

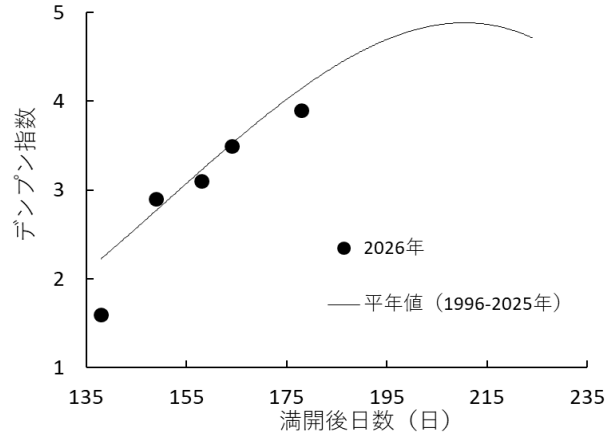


図 3 「ふじ」のデンプン指数の推移

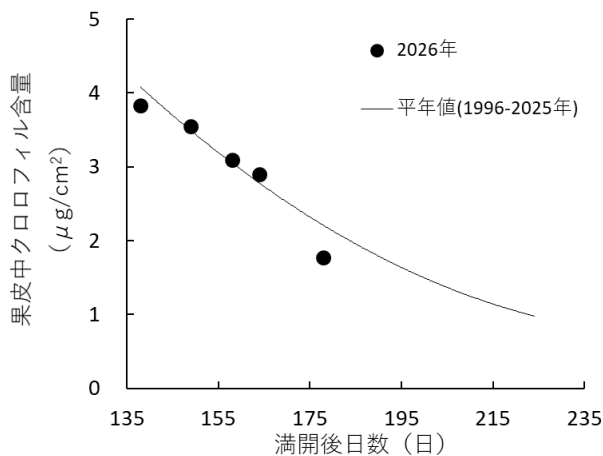


図 4 「ふじ」の果皮中クロロフィル含量の推移

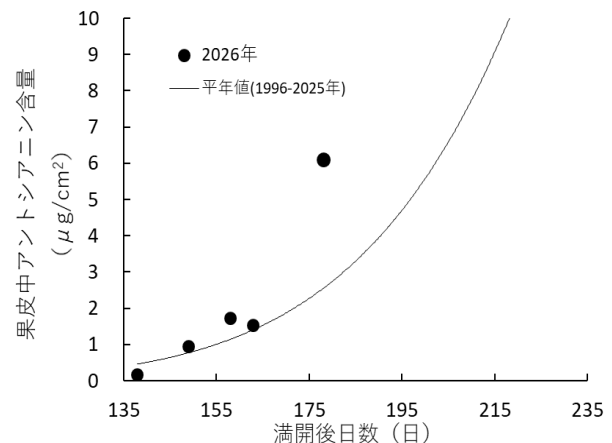


図 5 「ふじ」の果皮中アントシアニン含量の推移

ウ 「ふじ」の裂果発生状況

満開後 178 日（10 月 14 日）における「ふじ」／マルバ台果実の外部裂果率は 0 % で 2023～2024 年と比較して少ない傾向でした。内部裂果発生率は 16.7 % と過去 2 年間と比較して少ない傾向でした（表 2）。

表 2 りんご「ふじ」の裂果発生状況（満開後 178 日ころ）

調査樹	樹齢	外部裂果率 (%)				内部裂果発生率 (%)			
		2026	2025	2024	2023	2026	2025	2024	2023
ふじ/マルバ台	24	0	0	6.7	6.7	16.7	20.0	20.0	13.3

(3) ブドウ

ア 「シャインマスカット」（生育調査樹・短梢栽培）の成熟状況

満開後 126 日（10 月 8 日）における「シャインマスカット」の成熟状況は、糖度が 16.4° Brix、酒石酸含量が 0.27g/100ml、糖酸比が 60.6 となっています（表 3）。

イ 【参考】「シャインマスカット」（長梢栽培）の収穫状況

収穫盛期は9月27日であり、過去3年間の平均より11日遅くなりました（表4）。果実品質は、過去3年間の平均より果房重及び1粒重は高くなりましたが、果皮色、糖度及び糖酸比はいずれも低くなりました（表5）。

表3 「シャインマスカット」の成熟経過

調査日	満開後 日数	果房重 (g)	1粒重 (g)	果皮色 (カラーチャート値)	糖度 (° Brix)	酒石酸 (g/100ml)	糖酸比
8/25	82	608.6	12.8	1.5	13.1	0.67	19.4
9/14	102	614.3	15.1	1.5	14.6	0.41	35.4
9/28	116	577.1	14.2	2.0	15.3	0.31	49.5
10/8	126	606.5	14.8	2.0	16.4	0.27	60.6

表4 「シャインマスカット」（長梢栽培）の収穫状況

収穫開始日		収穫盛期		収穫終期	
本年	3年平均	本年	3年平均	本年	3年平均
9/24	9/15	9/27	9/16	10/1	9/18

注) 3年平均は、2021～2023年の平均値。

表5 「シャインマスカット」（長梢栽培）の果実品質

果房重 (g)		1粒重 (g)		果皮色 (カラーチャート値)		糖度 (° Brix)		酒石酸 (g/100ml)		糖酸比	
本年	3年平均	本年	3年平均	本年	3年平均	本年	3年平均	本年	3年平均	本年	3年平均
682.9	529.4	15.8	12.9	2.2	3.2	17.0	18.2	0.27	0.23	63.0	82.1

注) 3年平均は、2021～2023年の平均値。

4 栽培上の留意点

(1) りんご

ア 「ふじ」の収穫前管理

摘葉、玉回しは遅れないように計画的に実施しましょう。

イ 「王林」の収穫

未熟果（緑色果）を収穫すると食味が劣るため、果面全体に果点が浮き上がってきた果実から2～3回に分けて収穫しましょう。収穫適期は、果皮色が全体に黄色味を帯び、がくあ部付近にやや緑色が残っている状態の時です。果面から緑色が消えた果実は貯蔵性が低くなるため、収穫が遅れないように注意しましょう。

ウ 「ふじ」の収穫

収穫に当たっては、蜜入りの状態に加えて、果実の着色、地色及び食味等により総合的に判断しましょう。

5 病害虫防除上の留意点

(1) 病害

ア モモせん孔細菌病

本病は秋期に降水量が多いと翌春に春型枝病斑の発生が多くなる傾向にあります。今後の降雨により新梢への秋期感染が増加する恐れがあるため、降雨前の秋期防除を徹底し、越冬病原菌密度の低下を図りましょう。

3回目の防除を実施していない場合には、薬剤は4-12式ボルドー液、又はICボルドー412を30倍で使用するか、クレフノンを100倍で加用してコサイド3000を2,000倍で、またはクレフノンを100倍で加用してムッシュボルドーDFを500倍で使用し、十分量を散布しましょう。

イ ナシ黒星病

秋期防除は、翌年の伝染源となるりん片への感染予防に重要です。重要な防除時期は、りん片

生組織の露出（図6）が多くなる頃（果樹研究所では10月上旬～11月上旬）となります（図7）

（参考：令和4年度普及に移しうる成果（<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachm ent/566356.pdf>））。薬剤散布は、オーソサイド水和剤 80 を 600 倍で使用し、2 週間間隔で 2 ～ 3 回散布（キャブタンの総使用回数に注意）し、最終散布は落葉率 80%頃を目安に実施します。また、薬剤散布は降雨前の実施を心がけ、薬液が棚上まで十分量かかるよう丁寧に行いましょう。

なお、10 月 8 日時点の果樹研究所「幸水」予備枝におけるりん片生組織の露出芽率は 20.8%で、9 月 30 日の 16.3%から増加しています。

薬剤散布前には徒長枝の整理等の新梢管理を行い、薬剤の散布むらをなくしましょう。2 回目以降の散布では、薬剤のかかり具合を確認し、新梢管理を見直しましょう。



図6 露出した芽りん片生組織（枠内）

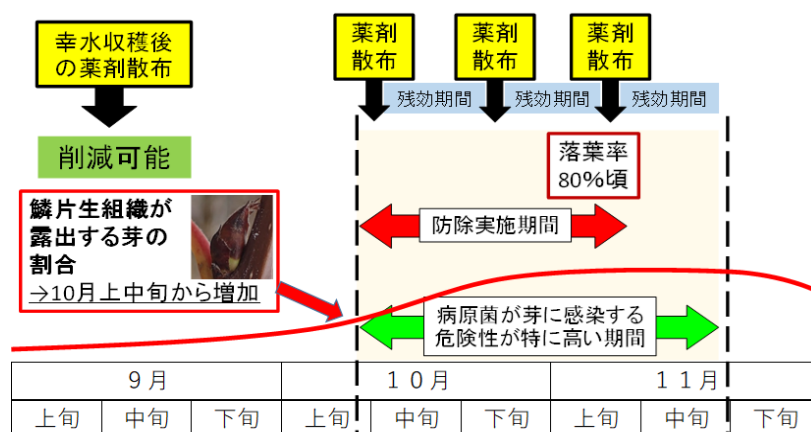


図7 なし及び病原菌の生態に基づく秋期防除の考え方

病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 農業革新担当 TEL 024(521)7344

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>